

23区「清掃工場故障週報」平成24年度

光が丘清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
33	2号炉	休炉	H24.8.19	1:12	H24.8.27	1:07	「2号炉ボイラー下ロータリーバルブ(1)」トリップ警報が発報した。治具によりロータリーバルブのトリップは解除できたが、シュートの閉塞が見られたため焼却炉を立ち下げた。
30	2号炉	休炉	H24.8.9	0:18	H24.8.17	1:11	「2号炉ボイラ下ロータリーバルブ(1)トリップ」警報が発報した。解除作業を試みるも復旧しないため、焼却炉を立ち下げた。
28	1号炉	休炉	H24.7.31	13:00	H24.8.14	1:10	蒸気式ガス再加熱器の差圧が上昇傾向にある。点検清掃を行うため、焼却炉を立ち下げた。
18	1号炉	休炉	H24.6.17	3:23	H24.6.23	1:13	排ガス再加熱器入口温度“低”警報が頻発しており、当該入口圧力が上昇傾向にある。排ガス再加熱器フィンチューブの閉塞が考えられ、閉塞解除のため焼却炉を立ち下げた。
11	1号炉	休炉	H24.5.31	0:58	H24.6.4	1:02	飛灰の輸送完了の時間設定を超過したため警報が発報した。輸送配管の閉塞が原因とみられ復旧作業を続けたが、槌打作業では復旧できないため焼却炉を立ち下げた。
2	1号炉	休炉	H24.4.13	17:00	H24.4.17	1:01	点検時、ボイラ下シュート(1)の閉塞を確認した。槌打を試みるも復旧できないため焼却炉を立ち下げた。

大田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
70	2号ごみクレーン	停止	H25.3.19	19:20			故障発生日時において2号ごみクレーンを手動運転しようとした際、主電源がトリップした。調査の結果、バケット開閉用給電ケーブルの短絡を確認。後日、給電ケーブルの交換予定。
66	1号ごみクレーン	停止	H25.3.3	18:00			1号クレーンの日常点検中、ごみクレーンバケットの2メートル上部の位置に2箇所、ジャバラ部分に1箇所、ワイヤロープのうねりを発見した。
49	2号ごみクレーン	停止	H24.10.30	17:39			2号クレーンの乱巻き解除作業中、クレーンの巻上げ時に本体に引っ掛かりワイヤロープを一本切断した。後日ワイヤロープを交換予定。
46	2号炉	休炉	H24.10.23	9:10	H24.11.1	17:00	現場巡回の際に、2号炉燃焼ストーカシャフトが破断しているのを発見した。燃焼ストーカシャフト補修及び原因調査のため、焼却炉を停止した。
43	2号炉	休炉	H24.10.18	19:31	H24.10.19	16:43	2号炉飛灰空気輸送装置故障発報(タンクレベルH)。タンク内の詰まり解除のため、焼却炉を停止した。
17	3号炉	休炉	H24.6.18	3:30	H24.6.22	16:10	No.1ごみクレーンバケットの爪本体が折損し、3号焼却炉内に入った。爪本体の取り出し及び火格子点検のため、焼却炉の立ち下げを行った。
13	タービン発電機	停止	H24.6.6	0:02	H24.6.8	17:30	タービン入口蒸気圧力の低警報が発報し、タービン発電機がトリップした。原因として、タービン発電機起動盤付き圧力計の圧力検出機構の不具合が考えられる。また、契約電力超過対策として2号焼却炉を立ち下げた。

目黒清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
69	2号ごみクレーン	停止	H25.3.18	14:30			2号ごみクレーン横行装置異常警報が多発。調査を行った結果、横行車輪の従動側車輪が傾いていることを発見したため使用中止とした。
67	2号炉	休炉	H25.3.4	4:00	H25.3.25	19:00	3月4日(月)4:00頃から復水タンクのレベルが減少傾向であることに気が付き、3月5日(火)～7日(木)にかけてブローライン、トラップ、給水・蒸気配管の調査を行うが異常は当たらなかった。純水使用量(ボイラー給水)調査のため、焼却炉を立ち下げた。
40	1号ごみクレーン	停止	H24.10.2	12:30			1号ごみクレーン、ブレーキ部の電磁接触器付属機器に不具合が発生し、ブレーキの自動解放が困難となったため使用中止とした。
35	1号炉	休炉	H24.9.2	16:20	H24.9.7	19:25	1号炉主灰シュートの閉塞が進行し、解除が難しいと判断したため焼却炉の立ち下げを行った。
9	1号炉	休炉	H24.5.17	0:17	H24.5.19	18:17	1号炉ろ過式集じん器下部のシュートでブリッジが発生し、閉塞解除作業を試みたが解除できず焼却炉の立ち下げを行なった。
7	1号炉	休炉	H24.5.12	15:38	H24.5.15	11:28	1号炉飛灰圧送配管が閉塞し、解除作業を試みたが解除できないため焼却炉の立ち下げを行なった。その途中、19時10分に制御システムの異常警報が発報して緊急停止状態になった。

23区「清掃工場故障週報」平成24年度

有明清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
64	1号炉	休炉	H25.2.7	7:00	H25.2.18	17:00	復水タンクから水漏れを発見。保温材を撤去したところ亀裂を確認した。共通設備の為、全炉停止して補修を行う。
	2号炉		H25.2.7	7:00	H25.2.15	17:50	

千歳清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
47	1号炉	休炉	H24.10.24	1:35	H24.10.25	21:35	No.1ボイラダストコンベヤが過トルクで停止した。正逆転操作を繰り返しても復旧できず、ダストの排出が出来なくなったため、焼却炉を停止した。

江戸川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
71	1号炉	休炉	H25.3.18	15:00			ボイラ出口圧力の低下を確認し推移を観察していたが、さらに低下している。ボイラ灰による閉塞とみられ、炉内圧が正圧になる危険があるため、焼却炉を停止して清掃を実施する。
62	2号炉	休炉	H25.2.3	1:57	H25.2.6	15:23	2号減温塔下コンベヤが過電流でトリップした。復旧を試みるもコンベヤが内部で干渉している様子で動かず、焼却炉を立ち下げた。
58	2号炉	休炉	H24.12.28	12:00	H25.1.7	18:00	2号炉SGHドレンタンクから脱気器への配管部で蒸気漏れが発生したため、焼却炉を立ち下げる。
29	2号炉	休炉	H24.8.3	10:00	H24.8.10	19:55	2号炉SGHドレンタンクから脱気器への配管部で蒸気漏れが発生したため、焼却炉を立ち下げた。

墨田清掃工場

故障による休炉なし

北清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
53	1号炉	休炉	H24.12.1	15:30	H24.12.5	16:42	蒸気式空気予熱器からフラッシュタンクへの蒸気戻り配管において、蒸気漏れが発生した。補修するための系統隔離が運転中は困難なため、焼却炉を立ち下げた。
24	1号炉	休炉	H24.7.21	15:30	H24.7.24	12:10	焼却炉立ち上げ後の定常運転への移行中に煙突入口4成分計が故障し、排ガスの監視ができなくなった。同成分計の改善を試みたが復旧できず、焼却炉を立ち下げた。

新江東清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
55	3号炉	休炉	H24.12.15	5:28	H24.12.24	21:34	ダイオキシン類除去反応助剤を供給するための助剤定量切り出し装置が故障し、集じん設備に助剤を供給することができないため、焼却炉を立ち下げた。
8	3号炉	休炉	H24.5.12	16:44	H24.5.31	21:26	コンベヤチェーンが破断し、フライトが脱落した。灰の搬送ができないため、焼却炉を立ち下げた。

23区「清掃工場故障週報」平成24年度

港清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
37	2号ごみクレーン	停止	H24.9.15	22:55			「No.2ごみクレーン巻上異常(非常上限)」が発報した。現場を確認したところ、バケット油圧シリンダ上部が破損していた。翌日、業者にてNo.1ごみクレーンバケットを付け替えて仮復旧した。
36	1号ごみクレーン	停止	H24.9.9	21:42			「No.1ごみクレーンバケット油圧電動機過負荷」が発報した。現場を確認したところ、給電ケーブルがバケットの爪に引っ掛かっていた。そのため、クレーンを手動で格納位置に退避させた。
27	1号ごみクレーン	停止	H24.7.28	21:47			1号クレーンを手動運転中、3号炉ホッパーで巻上・走行・横行が不能となった。復旧を試みたが、原因が特定できなかったため、走行ブレーキを解除し、2号クレーンにて休炉中の1号炉ホッパ上まで移動させた。
4	2号炉ごみクレーン	停止	H24.4.18	11:30			2号ごみクレーントロリに付いている点検用梯子に電気ケーブルが引っ掛かり、電気ケーブル3本が断線した。通常運転することができないため、2号炉ごみホッパと3号ごみホッパの間に格納した。

豊島清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
54	1号炉 2号炉	休炉	H24.12.9	18:51	H24.12.11	13:03	機器冷却水配管ストレーナが異物により閉塞し、冷却水流量が著しく低下した。このため、タービン発電機がトリップしたため、緊急と判断し焼却炉を停止した。
39	1号炉	休炉	H24.9.28	5:50	H24.10.8	20:09	炉床流動部の温度が急激に下降し、排ガスコも併せて連続的に上昇した。このため、焼却炉の連続運転が不可能になったことにより炉を立ち下げた。
32	1号炉	休炉	H24.8.18	23:16	H24.8.23	14:05	給じん設備のパドル駆動用減速機取付ボルトが破損し取付架台より外れ、駆動用チェーンが脱落した。また、上部縦型電動機の頂部が歩廊躯体と接触し、損傷を受け焼却炉の運転が不可能になったので停止した。
26	1号炉	休炉	H24.7.27	1:57	H24.7.27	14:52	煙突入口分析計の酸素濃度がホールド状態になり、塩化水素の酸素濃度12%換算値を表示できなくなった。塩化水素の換算前の生数値は、0ppmで問題なかったが、原因調査のため焼却炉を停止した。
20	1号炉	休炉	H24.6.28	4:28	H24.6.28	11:54	パンカゲートスロープから剥離した鉄板が給じん機内に引っ掛り、運転継続が不可能になったので焼却炉を立ち下げた。
19	2号炉	休炉	H24.6.22	21:00	H24.6.25	10:43	DCS更新後CO濃度が安定せず、自動燃焼制御では抑制不能となり手動操作に切り替えたが、安定燃焼が維持できないため、焼却炉を停止した。

中央清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
71	1号炉	休炉	H24.3.30	15:30	H24.4.3	15:23	1号灰コンベヤから灰が排出されていないことを発見し、灰押し出し装置および主灰シュートの閉塞を確認した。閉塞解除のため、焼却炉を立ち下げた。

渋谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
57		休炉	H24.12.27	18:19	H24.12.28	16:29	不燃物抜出装置 (No.2) 過電流トリップにて停止。直ちに現場にて手動操作、槌打を実施するが回復の見込みがないため、焼却炉を停止することとした。
16		休炉	H24.6.13	23:56	H24.6.16	17:59	No.2 不燃物移送コンベヤのチェーンの破断を確認した。補修方法を調査していたところ、バケットの落下も確認したことから、焼却炉から不燃物が抜き出せなく、継続運転が不可能と判断し修理のため焼却炉を停止した。

23区「清掃工場故障週報」平成24年度

板橋清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
10	2号炉	休炉	H24.5.30	3:26	H24.6.1	15:48	誘引ファン制御油ポンプの故障警報が発生した。現場操作で復旧できず、ポンプの電動機が加熱していることを確認した。炉内圧制御に支障をきたす恐れがあるため、焼却炉を立ち下げた。
3	2号炉	休炉	H24.4.16	9:00	H24.4.19	22:22	2号炉ストーカ下乾燥帯ホッパAシュート部の温度が低いため調査したところ、当該シュート部の閉塞を確認した。閉塞解除のため2号炉焼却炉を立ち下げた。

足立清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
31	2号炉	休炉	H24.8.10	9:30	H24.8.15	17:58	2号炉乾燥ストーカ下コンベヤに未燃物が落ちてきているため、調査のために焼却炉を立ち下げた。
22	1号炉	休炉	H24.6.21	10:00	H24.7.2	22:41	1号炉ヒドラジン濃度低下のため調査したところ、脱酸剤注入ラインの流量低下がみられ、調査のために焼却炉を立ち下げた。
1	2号炉	休炉	H24.4.5	11:10	H24.4.25	14:58	2号炉炉圧制御ダンパの開度不良により、炉内圧力の自動制御が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。翌日から予定していた中間点検にこのまま入る。

多摩川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
65	1号炉	休炉	H25.3.3	5:33	H25.3.4	20:46	1号給じん装置(2)が前極限で止まったまま動作不能となったため、休炉し補修する。
63	2号炉	休炉	H25.2.3	20:25	H25.2.4	20:00	NOx濃度調節弁周辺よりアンモニアガス漏洩を確認したため、休炉し補修する。

品川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
48	1号ごみクレーン	停止	H24.10.24	23:00			No.1ごみクレーンの自動運転中、漏電警報が多発した。調査の結果、スリップリングにスパーク痕があり、交換が必要であることが判明したため、クレーンの使用を停止した。

葛飾清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
12	2号炉	休炉	H24.6.1	23:27	H24.6.14	19:38	2号主灰排出装置内部の油圧配管で油漏れが発生し、ストーカ駆動装置の圧力及び油量が低下した。作動油の補充等を行うも復旧の見込みが立たず、焼却炉の運転継続が困難となったため、停止した。

23区「清掃工場故障週報」平成24年度

世田谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
59	2号炉	休炉	H25.1.14	8:00	H25.1.25	11:39	燃焼溶融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みたが、その後も塊の上にスラグが堆積し、徐々に閉塞してきたため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
52	1号炉	休炉	H24.11.15	11:49	H24.11.16	22:38	「砂分級装置故障」警報が発報した。振動モータが過負荷により運転が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
51	2号炉	休炉	H24.11.11	14:03	H24.11.15	22:57	No.1不適物搬送コンベアが故障停止した。現場確認したところ、シュート部に詰まりが発生していた。解除に時間がかかるため、炉を立ち下げた。
45	1号炉	休炉	H24.10.23	8:54	H24.11.10	21:10	「破砕ごみ搬送装置故障」及び「破砕ごみ解砕機故障」警報が発報した。現場確認したところ、破砕ごみ搬送装置のエプロンが破損して落下し、破砕ごみ解砕機に挟まっていた。補修するため焼却炉を立ち下げた。
41	2号炉	休炉	H24.10.7	21:47	H24.10.13	1:48	No.1不適物搬送コンベアが故障停止した。現場確認したところ、シュート部に詰まりが発生していた。解除に時間がかかるため、炉を立ち下げた。
25	1号炉	休炉	H24.7.21	22:02	H24.8.15	23:28	燃焼溶融炉の流下口をITVカメラで監視していたところ、スラグランスの先端部より水漏れを発見した。補修するため焼却炉を立ち下げた。なお、このまま中間点検に入る。
23	1号炉	休炉	H24.7.9	12:24	H24.7.13	11:49	破砕ごみ解砕機電流値上限の故障警報が発報した。正逆転にて復旧するが、繰り返し発報し改善しないので、状況確認のため焼却炉を立ち下げた。
21	2号炉	休炉	H24.6.29	20:04	H24.7.25	22:37	溶融スラグの流下が止まり、燃焼溶融炉壁温度が徐々に低下してきた。その後、ITVカメラで流下口からの水漏れを確認したため、焼却炉を立ち下げた。
14	2号炉	休炉	H24.6.7	4:51	H24.6.9	22:52	ガス化炉の流動不良が起こり、ガス化炉上部の温度が上昇した。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため焼却炉を立ち下げた。
6	1号炉	休炉	H24.5.12	10:58	H24.5.16	3:20	ガス化炉の流動不良が起こり、ガス化炉上部の温度が上昇した。改善操作を試みたが流動不良が解消しないため焼却炉を立ち下げた。
5	1号炉	休炉	H24.5.11	6:50			アンモニア水貯蔵室内でアンモニア濃度"高"警報が発報した。ポータブル測定器でアンモニア気化装置上部での漏洩を確認した。ごみ投入を停止し、アンモニア吹込みを停止し、補修作業を行った。
70	1号炉	休炉	H24.3.30	12:20	H24.4.4	22:47	燃焼溶融炉流下口の壁面等に溶けたスラグが付着し、塊が出来た。解除を試みたが、その後も塊の上にスラグが堆積し、徐々に閉塞してきたため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。

板橋清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
60	2号炉	休炉	H25.1.17	11:20			側壁レンガ温度測定用熱電対挿入部分より溶融物と思われるものが漏洩したため休炉した。なお、溶融炉は焼却炉中間点検のためホールド運転中であった。

足立清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
68	1号炉	休炉	H25.3.14	14:00	H25.3.23	18:45	排ガス流量等に異常がみられ確認したところ、灰定量供給装置のシュート部と炉蓋とのフランジ部分から水漏れを発見した。炉内への水漏れが懸念されるため停止した。
61	1号炉	休炉	H25.1.18	2:00	H25.1.21	17:50	排ガスダクト付着物除去装置の軸受内部のロッド用滑り軸受及び、滑り軸受け押えとクリーナーロッドが固着し作動不能となった。それにより、煙道の確保が困難となったため立ち下げた。

多摩川清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
56	1号炉	休炉	H24.12.25	19:00	H25.1.9	7:00	日常巡視点検中にスラグ搬出コンベア駆動側軸受が破損していることを発見した。軸受の一部破損でスラグ搬出コンベアは駆動しているものの今後破損が進行し、他部位への影響が懸念されるため、灰溶融炉を休炉した。

23区「清掃工場故障週報」平成24年度

品川清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
44	1号炉	休炉	H24.10.20	18:49			溶融空気予熱器ロータリバルブが故障したため点検したところ、自動清掃装置の部品がロータリバルブに噛みこんでいた。内部を確認するため炉を立ち下げた。

葛飾清掃工場(灰溶融炉)

故障による休炉なし

世田谷清掃工場(灰溶融炉)

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
34	1号炉	休炉	H24.8.20	0:41	H24.9.4	20:00	「No.2プラズマ電源装置チョッパユニットスナバモジュール温度高異常」警報が発報し、プラズマが停止した。原因を調査するため休炉した。
58	1号炉	休炉	H24.1.7	10:30			灰溶融炉下部の炉体と炉底電極間に炎を発見した。調査、補修のため停止した。

中防灰溶融施設

故障による休炉なし

中防 破碎ごみ処理施設

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
50		休炉	H24.11.8	13:56	H24.11.19	2:01	ろ過式集じん機ホッパー部に詰まりが発生。解除に時間がかかり、その間灰搬出が出来ない為焼却炉を立ち下げた。
38		休炉	H24.9.15	9:43	H24.11.3	2:05	No.1焼却灰移送コンベヤショックリレーが動作した。確認したところ、サイクロ減速機の故障と判断した。補修に時間がかかり、その間灰搬出が出来ない為焼却炉を立ち下げた。
15		休炉	H24.6.8	14:30	H24.6.19	10:26	ごみ供給装置のシャーピンが折れているのを確認した。補修にあたり、スプロケットと取付板が固着しているためシャーピン交換に時間がかかり、その間ごみ供給できないので焼却炉を立ち下げた。

中防 不燃ごみ処理施設

連番	炉	状況	発生日時		立上日時		故障内容・備考等
42	第2プラントD系	停止	H24.10.15	12:30			蓄熱燃焼式脱臭装置ケーシング上部からリークがあることを確認したため、D系の処理を停止した。その後内部を調査したところ耐火レンガが脱落していることを確認した。なお、D系はこのまま補修工事に入る。